

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

城西大学 西川由比子ゼミナール 西川ゼミ A パート

15

部門番号

部門名

人口論

テーマ

経済持続のための産業振興

サブテーマ

過疎地の人口流出を止めるためには

趣意文

現在、我が国では過疎化と都市化について問題となっている。少子高齢化により労働力人口の減少や社会保障費財源不足などの問題が発生している。さらに、若者の都市部への流出により過疎地では消費市場が縮小し、労働力人口が減少するため人口構造の不均衡が発生している。

人口流入地と流出地の相違はそれぞれの産業構造の相違も関係していると考えられる。人口流入地は雇用機会が多いのに対して、人口流出地における雇用機会は少ない。

労働力不足の問題解決のためには、雇用機会を創出するような人口流出の歯止めのための工夫として、産業振興が必要になると私たちのパートは考える。

部門番号 15 部門名 人口論

テーマ インフラ整備について

サブテーマ 首都一極集中の是非について

趣意文

日本の人口は今後減少の一途を辿るとされている。それに伴って様々な問題が起こると考えられるが、その中で我々はインフラ整備に焦点を当てていきたい。特に地方においては人口の流出に伴って整備しきれないインフラが増加すると考えられるからである。

地域の人口減少に対して、今どのように向き合うべきなのかについて議論していきたい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

明治 大学 藤江昌嗣 ゼミ C パート

15

部門番号

部門名

人口論

テーマ

衰退する地方都市

サブテーマ

都市集中化と地方創生

趣意文

現在、我が国では地方都市の人口減少や少子高齢化が問題となっており、過疎化が深刻化している。だから、私たちは衰退する地方都市の創生をテーマに掲げる。本テーマに沿った討論内容として、具体的に以下の二つについて話し合いたい。一つ目は、都市に人口が集中することによる地方への影響である。人口減少やそれによる少子高齢化を取り上げようと思う。二つ目は、なぜ地方から出て行く人が多いのかである。これは、一般的に都会に進出するキッカケは溢れているが、地方にとどまる、或いは地方に出て行こうとするキッカケは少ないように感じているからだ。このように問題点を示した上で、結論としてどうすれば地方に再び賑わいを出すことができるかを提起する。そして、上記の考察をふまえて現在の政策や人材派遣制度に基づき、現在・そしてこれからの解決策を論じ導きたい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

明治 大学 藤江昌嗣 ゼミ 藤江昌嗣 D パート

15

部門番号

部門名

人口論

テーマ

人口減少改善のカギ

サブテーマ

日本の政策から考える

趣意文

現在日本が抱えている深刻な問題の1つとして、人口減少が挙げられる。厚生労働省の推計によると、2017年の人口減少幅は過去最大の40万3千人となっており、また出生率も2年連続で100万人を割ってしまうなど、明らかに日本の人口は減少してしまっているのが現状である。こうした人口減少が引き起こす諸問題は、決して私たちに無関係なものではなく、むしろ非常に身近なものであるといえるだろう。

人口減少の最たる原因としては少子化が挙げられる。少子化の背景には様々な要因があり、そうした要因を解決する上で重要となるのが政策である。日本政府は人口減少を食い止めるべく数々の政策を打ち出しているが、未だ日本全体の人口減少に歯止めはかかっていない。一方、北欧諸国やフランスは政策を通して少子化対策に成功しており、政策の取り方次第で人口減少は防げるものであるといえる。

では日本政府は今後どのような政策を打てば人口減少を食い止めることができるのだろうか。人口減少が引き起こす様々な問題を考えた上で、日本社会の現状と現在の人口減少対策に関する政策を分析しながら討論していきたいと考えている。